

PI第1フェイズ実施結果報告

皆様からいただいた声



内閣府沖縄総合事務局

【社会のあり方について】

1. 企業活動・働き方について(P4～5)

- 働き方については、渋滞を避けるため、送迎のための早朝の時間損失について多くの声をいただきました。移動の制約により、時短での勤務や近隣での勤務など仕事の選択や労働時間が限定的になっているとの声も少なくありませんでした。
- このため、フレックス等の時間に柔軟な働き方を望む声や、公共交通を利用しやすくなるよう通勤支援を求める声もありました。
- ビジネス面では、時間損失による生産性の低下やビジネス機会の損失に繋がっているとの声がありました。

2. くらし方について(P6～10)

- 移動や送迎による時間損失が家事などの生活面にも影響しているとの声が多くあり、移動中の時間も有効活用したいという声もありました。また、送迎や車の有無によって生活が制限されるといった声もありました。
- 家計への影響については、購入費、駐車場費、ガソリン代などが固定費となり可処分所得が上がらないという声もありました。
- このため、公共交通の利用したくらしを求める声があった一方、これまで通り自家用車を利用したいという声もありました。

3. まちのあり方について(P11～13)

- まちづくりが車優先になっているのではないかという意見を多くいただきました。
- 特に、買い物について歩いて回れる環境を求める声や、商業施設や子育て施設が駅などの交通結節点の近くにあるとよいという声がありました。
- また、歩行、自転車で移動しやすい環境や、もっと公園・緑地が近くにある街を望む声があり、駐車場は車を呼び込み都市の魅力を低下させるといった声もあった。また、地元向けの商店など沖縄らしいくらしが残るまちを望む声もありました。

4. 環境について(P14)

- 沖縄らしい自然を残してほしいとの声が多く、現在の自家用車社会や運輸部門のCO2排出量増加を懸念する声もありました。
- このため、電動車などの環境に配慮した移動手段が必要との声がありました。

【社会のあり方について(つづき)】

5. 学びについて(P15～17)

- 保護者からは、子供の成長や将来のために友人とともに自立的に通学できる環境を望む声が多く、また、保護者自身の送迎負担を訴える声もありました。
- 学生からは、親の負担なく、自由な課外活動等を行えるよう自ら通学・移動できる環境を求める声がありました。
- 一方で、費用負担・安全性・親子のコミュニケーション等の観点から、送迎を望む声もありました。

6. 高齢者について(P18～19)

- ✓ 健康維持などのためにも外出機会の確保が重要である一方、高齢者が運転を続けるのは安全面から望ましくなく、家族による送迎も家族の負担が大きいため、送迎に頼らず出かけやすい環境を求める声が多くありました。

7. 観光について(P20～22)

- 渋滞やレンタカーでの移動によって、訪問機会や消費機会を損なっているとの声がありました。また、もっと沖縄の自然や文化、くらしなどをゆっくり楽しみたいとの声もありました。
- レンタカーだけでなく公共交通機関やレンタサイクルなど多様な手段で観光を楽しみたいとの声がありました。
- また、観光客増加にともなう車の増加を懸念し、地元住民が使いやすく、観光客も活用できる公共交通を望む声が双方からありました。

【交通サービスについて】

8. 路線・ダイヤ、交通結節について(P23～24)

- 路線に関しては、駅との接続などネットワークの構築を求める声がありました。また、地域循環ルートの導入やバスの小型化、バス停の増設などによるきめ細かなサービスを求める声もありました。
- ダイヤに関しては、通勤・通学や帰宅時の需要に合わせた運行を求める声や重複路線のダイヤ効率化を求める声がありました。
- バス路線がわかりにくく、路線名称や空港・駅等での表示など、利用者に伝わりやすい表示を求める声がありました。
- 複数の交通機関がまとまった結節点を求める声があり、また、結節点にはスーパーや子育て施設など、生活・商業施設を備えるべきなどの声がありました。
- また、そうした結節点で乗継の利便性が向上するよう、バス同士や、バスとモノレールのダイヤの調整などを求める声がありました。また、パークアンドライドのような自家用車との乗り継ぎ拠点の整備を求める声が見られました。

9. サービスの向上について(P25)

- 決済に関しては、OKICA導入により利便性が増したとの声もあるものの、住民・観光客双方が使いやすいよう、全国交通ICやクレジットカードなどのさらなる互換性の向上を望む声を多くいただきました。
- 運賃に関しては、通勤通学を支える支援を求める声がありました。また、観光用には利便性が高いパスであれば値段をそれほど気にしないとの声もありました。
- その他、バス待ち環境の整備や路線情報の案内等の充実を求める声がありました。

10. 新たなサービスの導入について(P26～27)

- 小さくても地域を巡回するバスや、のりあいタクシーなど、送迎に代わるような近距離の移動サービスの充実を求める声がありました。
- モノレールの輸送力強化を求める声のほか、更なる延伸、鉄軌道整備などの声も挙げられていた一方、要する期間やコストの観点から既存のバスの充実を求める声もありました。
- 将来的には自動運転や空飛ぶ車の導入を期待する声もありました。
- このほか、観光客のニーズについては、レンタカー以外の交通手段の充実やレンタカーと公共交通の組み合わせ、それらを活用した観光の促進を望む声もありました。

1. 企業活動・働き方について①

○働き方に影響を与えているとの声

場所の制約

- ✓ 免許を持っておらず、モノレールの駅の近くでしか働けない。制約を感じる
- ✓ 妻は自宅近くで徒歩で通える範囲で仕事をする選択をした
- ✓ 給料を考えると働くなら那覇だが、姪は遠くまで車で通勤するのが怖いので、うるま市の中で掛け持ちで働いている

時間の制約

- ✓ 通勤時間を短くできれば、労働に充てられる時間も多くなり、家に帰る時間も早くなるので、家族とのコミュニケーションにより時間を充てることが出来る
- ✓ 渋滞を考慮して子供の送迎を行うには、会社を定時前に退勤する必要があり、就労時間を制約されている
- ✓ 子供が学生の頃は送迎しており、それらの時間は入社時や仕事終わりにしわ寄せが発生していた
- ✓ 出産後に仕事に復帰するが、遠方で渋滞もあるので時短勤務などを考えないといけない
- ✓ 短時間勤務ではなく、フルタイムで仕事がしたい
- ✓ 職場の方はバス通勤だが、本数少ないのでバスに合わせて早く切り上げることもある
- ✓ 渋滞がひどく早く起きて早めに出勤しなければならない
- ✓ 保育園への送迎もあるため、さらに早く起きなければならない苦勞している

仕事自体の制約

- ✓ 自動車免許がないと就職先が限られてしまい負の連鎖に繋がる
- ✓ 通勤時の渋滞が嫌なのでフリーランスの道に進んだ。交通の問題が働き方に影響している。
- ✓ 働くのに車が必要でシングルマザーでも車が必要。女性が働きやすい環境がいい
- ✓ 生活保護申請にあたり車があるとNGとなってしまうと、職業の選択肢の減少にもつながる
- ✓ 障がい者の移動は基本送迎。だからこそ、いざ就職先が決まっても自分で移動する手段がないと辞退することになってしまう
- ✓ 学術機関で勤務する外国人研究者がみんな運転免許をとらないといけない。研究に集中できない

1. 企業活動・働き方について②

○ビジネスに影響することを懸念する声

- ✓ 渋滞損失時間と労働力への影響を懸念
- ✓ 渋滞が生産性を下げていることに共感
- ✓ 職員が那覇から浦添の現場まで移動するのに1時間半かかることも。とても非効率
- ✓ 移動を伴う業務では渋滞を考慮して時間を多めにとる必要があり、純粹に仕事の時間が減る
- ✓ 渋滞により仕事も遅れる可能性が出てくる
- ✓ 移動がしにくいので、エリアの制限を自分でかけている。本当は沖縄市などにも営業をかけたい
- ✓ 実家が会社を経営しており、浦添に出店しようとしたものの駐車場が取れず断念した
- ✓ 本当はもう少し早く準備をして店を開けてあげたいが子供の送迎がありできない
- ✓ 渋滞を減らし、私生活や就業時間に余裕を生み、生産性の向上や時間的な暮らしの豊かさを実現したい

○柔軟な働き方を求める声

- ✓ 通勤の負担に関しては、テレワーク促進や通勤時間の分散化などの施策と併せて総合的に対応すべきと思う
- ✓ オンラインでのテレワークを増やせば渋滞が減ると思う
- ✓ フレックス勤務も渋滞解消につながるのではないか

○公共交通での通勤支援を求める声

- ✓ 会社側も通勤手当をしっかりと出すなど協力してほしい
- ✓ パークアンドライドは便利なので推奨してほしい。会社が駐車料金を負担すれば進むと思う
- ✓ 社員にも健康維持の取組として手当等のインセンティブがあるといい
- ✓ 通勤・通学定期券や一日乗車券の購入に補助を行ってはどうか
- ✓ バス利用の従業員が多い会社で賞金や表彰などをすると良いのではないか
- ✓ 公共交通で移動すると、汗をかくのが嫌。会社にはシャワー室があればうれしい

2. 暮らし方について①

○移動に係る時間が家事・余暇等に影響しているとの声

渋滞・送迎

- ✓ 交通の時間が減ったら、仕事や家の時間に使えるかもしれない
- ✓ 歩いて通勤できる場所に引っ越したため、渋滞から解放され、今は自己研鑽に時間を使っている
- ✓ 移動時間を減らして余裕が欲しい、趣味の時間が欲しい
- ✓ 家事の時間を増やしたい。家族と家事を分担して負担を減らしたい
- ✓ 時間のロスがなければゆとりも生まれるし、家事もできる
- ✓ 親や子など家族の送迎だけで一日の時間を取られる人もいる
- ✓ 母が送迎をすべて担当。渋滞で時間を使い大変。ただ他の選択肢もない
- ✓ 送迎の必要がなくなれば、空いた時間は読書などの趣味や休息にあてたい
- ✓ 送迎の必要がなくなれば、食事の準備が楽にできる
- ✓ 子供二人が違う保育園なので、送迎に時間がかかり大変
- ✓ 朝のコーヒーを飲みたい。朝は6時前に子供を起こしているの、子どもももう少し寝られる
- ✓ 車がないと移動できない。バスでもすごく時間がかかり、夕飯の準備が遅くなる
- ✓ 時間が読めない、夕食の時間も不規則になる
- ✓ バスも待ち時間がかかるので、徒歩を選択することもある

移動中の時間の有効活用

- ✓ 通勤時間を短くできれば、労働に充てられる時間も多くなり、家に帰る時間も早くなるので、家族とのコミュニケーションにより時間を充てることが出来る
- ✓ 渋滞を考慮して子供の送迎を行うには、会社を定時前に退勤する必要があり、就労時間を制約されている
- ✓ 子供が学生の頃は送迎しており、それらの時間は入社時や仕事終わりにしわ寄せが発生していた
- ✓ 出産後に仕事に復帰するが、遠方で渋滞もあるので時短勤務などを考えないといけない
- ✓ 短時間勤務ではなく、フルタイムで仕事がしたい
- ✓ 職場の方はバス通勤だが、本数少ないのでバスに合わせて早く切り上げることもある
- ✓ 渋滞がひどく早く起きて早めに出勤しなければならない
- ✓ 保育園への送迎もあるため、さらに早く起きなければならず苦労している

2. 暮らし方について②

○交通上の制約によって、生活における活動の選択肢が狭まっているとの声

- ✓ 送迎の有無や友達の車の有無によって休日の過ごし方が限られている。行きたいときに出かけられるのが理想
- ✓ 車なしで行ける範囲ではスーパーを回って価格を比べるなどもできないので困る
- ✓ 夕方は渋滞がひどいので活動範囲が狭まってしまう
- ✓ 店舗の駐車場や周辺道路の混雑で、店舗へ行くことを諦める時がある
- ✓ 渋滞や駐車場を探すことがストレスとなって外出を取りやめることが多い
- ✓ お酒を飲んでも帰れないから、那覇の人がうらやましい。本当はもっと長く飲みたい
- ✓ 公共交通が充実していればお酒をのもうかなと考えられる

○家計への影響を訴える声

- ✓ 購入費、駐車場費、ガソリン代など経済的な負担も大きい
- ✓ 移動手段として車が必要であり、家族1人1台の所有を余儀なくされる。状況が変われば経済的負担も軽減される
- ✓ 沖縄は現実的に車がないと生活ができないようになっており、コスト(保有コスト、燃料コスト)が余分にかかってしまう
- ✓ 車での生活は運動不足にもなるし、維持費もかかるし、公共交通で生活できるならその方がいい
- ✓ 車が当たり前の固定費になっている、沖縄の可処分所得が上がらない
- ✓ 車の維持費、燃料費も負担が大きく貯金ができない
- ✓ お金がない中でも、車保有のコストを優先せざるを得ない
- ✓ 沖縄は全国に比べて所得が低いので、若いうちから車の維持費などでお金がかかると大変
- ✓ 低所得の家庭も多いので、子供の送迎・車の費用は大変だと思う
- ✓ 車のコストが減れば、家計にゆとりが生じて、ちょっとした贅沢ができるのだが
- ✓ ガソリン代が高く、遠出を避けている部分がある
- ✓ ガソリン代と公共交通のコストを比較してバス移動に変えた。バスの中でゆったり過ごせるのが良い
- ✓ 車が一台しか持たなくて、ガソリン代も高くて、家の近くに保育園もスーパーも無くて不便している

2. 暮らし方について③

○公共交通を利用したくらしを求める声

- ✓ 車、レンタカーは過剰だと思う。公共交通の利用を促してほしい
- ✓ 沖縄のバスをもっと活用できたらいいのにと常日頃思ってる
- ✓ 本当は車に乗らずにバスを利用したい
- ✓ 公費にてバスの運賃を無料にして自家用車が減少する未来を見てみたい
- ✓ 普段は公共交通で、休日などはプライベートで車を、といった使い方をしたい
- ✓ 内地ほどではなくても公共交通機関で自由に行き来したい
- ✓ 公共交通機関が整備されることを望む。乗りたいときに乗れるのが理想
- ✓ 北から南まで自由に移動でき、どこの泡盛メーカーでも試飲でき、どこの食堂でも飲酒ができる環境になってほしい

○これまで通り自家用車を利用したいという声

- ✓ 渋滞は避けているので苦ではない。むしろ車の中の空間が、仕事と家の間の自分ひとりの空間として好き
- ✓ 車が快適なので、バスに多少の改善があっても車以外の選択肢は考えられない
- ✓ 渋滞はなくなった方がいいが、時間をずらせばいいのでそこまで影響受けていない
- ✓ 通勤で車を使う。渋滞はそこまでひどくない。定額で通勤費が支給されている
- ✓ 渋滞が起きるのは仕方ないと思っている。車内で休めたり、着替えられたりする便利さもあるので
- ✓ バスの混雑や移動時間、帰り道での買い物、早く帰れる時に子供の送迎など利便性を考えると自家用車を選択してしまう。どんなに公共交通が便利になっても自家用車を選択すると思う
- ✓ 今はバスに乗っているが時間がかかって大変なので可能であれば免許を取りたい

○人口減少地域の暮らしへの影響に関する声

- ✓ 高齢の方が増え、運転ができなくなり困っている。子供や孫に送ってもらう人はお小遣いをあげているが日々の買い物だけでお願いしていたらお金が足りない
- ✓ 小さな集落なので高齢者は少しの外出でも大変喜ぶ。それで精神面、体力面でも健康が保たれている
- ✓ 公民館でイベントをしても、車や送迎がない人は来ないため、イベントが減ってきている
- ✓ 小さな車両でもいいので移動手段があれば。集まっておしゃべりしながら買い物に出かけたい
- ✓ JAの移動販売がなくなってしまった。共同売店にそうした機能があると嬉しいが人手が足りない
- ✓ 田舎は不便で、大きい買い物は車が必要。だからこそ免許返納できない
- ✓ コミュニティバスが1日当たり5～6便の時もあったが、乗客が少ないため減便した。今は乗っていないが周りの方や将来を考えると維持してほしい
- ✓ 年齢が高くなるにつれて運転が怖くなってくる。最近はいちいち運転するのも嫌で外出が億劫になる。(国頭村)
- ✓ バスは使いづらいので乗る習慣がなく、老後が心配
- ✓ JAの移動販売はありがたいが、地元にお金が落ちないのは課題
- ✓ 病院は送迎をしてくれるところもあり、買い物に寄ることもできるのでありがたい
- ✓ 夫婦でお互いシフト制で仕事の合間を縫って高齢の母の送迎をやっているがやはりストレスになる
- ✓ 現状は車がないと生活できない環境。せめて住民が生活する範囲での移動には、便利な公共の移動手段があるといい。年を取って運転できなくなると、外出も難しくなる
- ✓ 離島のため輸送コストが高い
- ✓ バスを利用したいが、バス路線、便数が限られているので利用しづらい
- ✓ 小さな離島の為車は必需品である
- ✓ 徒歩で通勤なので、困った事はないが、街灯が少なく、準夜勤の帰り道が暗い

2. 暮らし方について⑤

○その他様々な方の暮らしへの影響に関する声

- ✓ 沖縄では障害を持った方の移動は基本的に送迎。このため公共交通リテラシーが身につかず、県外に出たときにせっかく公共交通があっても適応に苦慮してしまう。これはバリアフリー以前の話で車社会の弊害だと思う。このせいか障害を持った方の県外進出はとても少ないと思う
- ✓ 障がい者の場合、交通を使えないことで外出しなくなったりするなど活動の制約に。ずっと自宅と支援センターだけでが生活の活動範囲となっている方もいる
- ✓ 車イスの子が通える自動車教習所は中部に一つしかない。車両の改造費用の負担もあり、教習所への親の送迎も必要であり、費用と時間の親の負担が大きい
- ✓ 若いひとり親世帯はお金がなく自動車免許を取得できない。自動車を保有していないため就職できず働くことが出来ない人がいる。また、車を持っても駐車場料金をまかなうことが出来ず、離職を余儀なくされる方もいる
- ✓ 食糧支援をやっていても、車がないから受け取りに来れないという方もいる
- ✓ ハローワークの支所が旭橋にできて助かっている。こうした場所は駅の近くに設置するなど必要な方が行きやすいよう配してほしい

3. まちのあり方について①

○徒歩・自転車でくらせる街を求める声、車前提のまちづくりによる影響を訴える声①

まちづくり全般

- ✓ まちづくりがどこも車で人が訪れることを前提としている(基地返還跡地や土地区画整理事業等)
- ✓ 交通機関がまとまっていると移動しやすい。今は車目線でまちづくりをしている
- ✓ 車だけでなく、歩きや自転車でも動きやすい街が良い
- ✓ バス交通網が充実している衣食住がコンパクトにまとまっている福岡市を目指してほしい
- ✓ 車以外の移動をしたくなる社会になって欲しい(歩きやすくするため、歩道に木陰や日除けを設置する。半径1キロ以内ですべてがまかなえる小さな社会にして、移動自体を減らすなど)
- ✓ 街のつくりが歩く人にフレンドリーじゃない。高齢者が横断歩道がないところを無理に渡ろうとして危ない
- ✓ 健康のためにも、お年寄りが移動しやすいまちになってほしい
- ✓ 弱者に配慮した交通・まちづくりをしてほしい
- ✓ 暗いバス停は子供にとっては怖い。子供の行動しやすい住環境、街並みであってほしい

買い物・子育て・その他機能

- ✓ 車前提の大きい店ではなく、歩いて回れるような商店がある社会がいい
- ✓ 貧困割合と高齢化割合が高くなっていく中、生活必需品を歩いて買い物がすぐに見えるような街づくりを考えた方がいい
- ✓ ちょっとした買い物なら歩いていけるといい。今は、車に乗らないといけない。駐車場からお店までが遠い。大きいショッピングセンターばかり要らない
- ✓ 昔は歩いて20分圏内に商店が4件くらいあり、ちょっとした買い物がすぐできた。スーパーばかりではなく、そういう商店を支援してほしい
- ✓ 駅の近くに認定保育園があればもっと便利ではないか
- ✓ 県外だと駅の周りにお店が集中している
- ✓ モノレールの駅と商業施設など目的地との結節が悪く、駅から一定の距離を歩かなければならない
- ✓ モノレール駅が様々な施設と直結して、連携してほしい。駅ビルみたいな施設でもいい
- ✓ モノレールは国道付近を通らないのに、他の機能は国道周辺に集まってしまっている
- ✓ 那覇市内は色々なものが密集しているがそれはそれで便利とも思う

3. まちのあり方について②

○徒歩・自転車でくらせる街を求める声、車前提のまちづくりによる影響を訴える声②

歩行・自転車環境

- ✓ 暗い道路が多く、歩道が整備されていない。工事中で車道に出たりしなければならない
- ✓ 道路整備が車道だけ。もっと歩道にも目を向けてほしい。車道が便利になるとより車が便利になるだけだし。渋滞対策が車推進施策になってる気がする
- ✓ 自転車通勤通学が便利になるような安全な道路整備ができていることが理想
- ✓ 沖縄は自転車に乗りにくい。景色がきれいなのもったいない
- ✓ 自転車が増えたが追い越してくるときなど危ないときもある
- ✓ 沖縄は路上駐車が多く、安全面でも怖い、子供たちや車いすにも危ない
- ✓ 路上駐車が多く渋滞の要因となっている

駐車場

- ✓ 駐車場が多すぎるのもっと土地を有効活用してほしい
- ✓ 狭い沖縄で駐車場のために土地を使うのはもったいない
- ✓ 都市部の平面駐車場の乱立は見苦しい状況
- ✓ 都市部で進む商業施設の駐車場を立体化を促進し、そこから環境負荷の少ない交通手段に乗り換えを促す仕組みや都市部への車の乗り入れを規制を導入することで、交通渋滞を緩和を促すことができるか
- ✓ 駐車場などは都市の魅力を低下させる要因。住み続けたい、また来たいと思えるまちづくりが重要
- ✓ 駐車場を増やすということは、過密な市内により車を呼び込むことになる。そうではなく都市における空き家、空き地をもっと住民の楽しめる場所にしてはどうか

緑地・公園

- ✓ 都市部で進む平面駐車場の増加により、公園や緑地が減少していると感じる
- ✓ 歩いて気軽に行ける公園などの場所があってほしい
- ✓ 公園が増えたりしたらもっと住みよい街になる
- ✓ 公園など公共的な空間に乏しいと感じる

3. まちのあり方について③

○沖縄のくらしが残るまちを求める声

- ✓ 沖縄の文化がなくなってしまうような街づくりをしてほしい
- ✓ 昔からの沖縄らしさである入り組んだ道が失われている
- ✓ 地元向けの商店が少なくなり、観光客向けの街になってきている。引っ越す人も多く、将来的には自分もどうするかわからない
- ✓ 昔ながらの沖縄が失われているような気がする
- ✓ ゆっくりしたい。昔のような、近所に売店があり、車があってもなくてもいい時代がいい。現状は結局郊外には買い物する店舗がなく、車で外出するしかない
- ✓ 市町村合併を経て広くなったが、イベントなど人との繋がりが浅くなった。もっと繋がりが深まるといい

○居住地選択への影響を訴える声

- ✓ 賃貸アパートで駐車場が家族の台数分あるところを探さないといけない
- ✓ 都市部に住みたくても駐車場が確保できなく諦める事がある
- ✓ 那覇市に住んでいたが、時間ロスがすごくて沖縄市に引っ越した経験がある
- ✓ 新都心に魅力を感じて引っ越したが、渋滞がひどく引っ越した
- ✓ 渋滞が嫌で歩いて通勤できるエリアに引っ越した。家賃は上がったが快適
- ✓ 車がないと生活できない土地に人口が増加している

4. 環境について

○沖縄の美しい自然環境を守りたいとの声

- ✓ 今の車社会は環境にもよくないと思う
- ✓ 交通インフラの課題はあるが、これからも美しい島でいてほしいとは思っている
- ✓ 自然を残してほしい(道よりも緑を増やしたい)
- ✓ 環境負荷(温暖化)が心配
- ✓ 運輸部門のCO2増加が気になる
- ✓ CO2の排出については問題だとは思う
- ✓ 渋滞によってCO2で大気を汚しているし、時間が奪われていると思う
- ✓ 車はエコの観点や事故の観点でできるだけ減らしたい
- ✓ 那覇はゆいレールを使っている、歩くのは大変だが車を使うことによる事故や環境への影響を考えるととても自分で運転する気にはならない
- ✓ 豊かな自然環境に恵まれた土地だとの思いが年々薄れていく。ウォーキングも排気ガスを避けて遠くの公園まで行ったり自宅でAIを利用したウォーキング、ジョギングにしようか悩んでいる
- ✓ 沖縄独特の自然環境を維持し、環境保護や社会のサステナビリティに配慮した観光業を県の中心産業として育てることで、薄利多売で環境負荷が高い現在の観光業から脱却を図り、付加価値の高い旅行を楽しめる場所としたい

○環境負荷が少ない交通手段を求める声

- ✓ 地球温暖化対策として、ガソリン自動車やトラックから排出される二酸化炭素を抑えたい
- ✓ 環境に配慮した移動方法を検討すべき
- ✓ 車が多く、EVの導入も少ない。韓国の済州島は同じ観光地だが、自転車やEVで回れて気分が良い
- ✓ 環境のためにもEVが普及してくれたらよい、充電設備を早めに整備してくれたら
- ✓ 環境負荷的にも公共交通機関を整備して全員が無意識的にエネルギー低減に進められるようにしてほしい
- ✓ 今後環境問題に対応して、効率的な交通機関の検討やオンラインの活用を検討すべき
- ✓ 目的地別、移動距離別に環境負荷が少ない交通手段を用意し、レンタカー使用からの移行を図るような取り組みを行い、沖縄の貴重な自然環境を後世まで残してほしい。

5. 学びについて①

○子どもの成長や親の負担の観点から、子供が自分で通学/移動できる環境を求める保護者からの声

成長

- ✓ 送迎時の学校周辺の危険な乗り降りや渋滞が解消されることを望む。通学時の寄り道も社会経験になるため、基本的には子供(中高生大学生)が自ら通学できる社会になってほしい
- ✓ 若者が自ら移動する自主性を持つような教育をするべき
- ✓ 子供が大きくなったら、車が無くても高校大学通えるなど、住みやすくなってほしい
- ✓ 学生の時に公共交通に慣れ親しむことで、大人になっても車以外の移動選択肢を考えるとと思う
- ✓ 子どもがいたら、友達一緒に自分たちで通ってほしいと思う
- ✓ 学生はバスに乗った方が良いと思う。送迎は贅沢だと思う
- ✓ 高校生の送迎が多いのは甘やかしすぎだと思う。通学くらいは自分でした方がいい
- ✓ 親の世代が子供の送迎をすると、子供も親の背中を見て育つ、親世代の意識改革が必要
- ✓ 朝の支度なども本当は子供のペースをできるだけ子ども自身に作らせてあげたいが、どうしても大人の時間に合わせて、(場合によっては叱りながら)支度せざるを得ない
- ✓ 本土の子ども達にくらべ、生活範囲が狭いと感じる。様々な活動を行ないたくても、活動拠点が離れている場合どちらかを諦めないといけない。送迎によってこのアクセスの悪さをカバーしているが、結果として保護者の時間を奪っている

負担

- ✓ 送迎は問題。親も子も時間のロスだし、渋滞を更に引き起こすので悪循環
- ✓ 混雑のせいで子供が学校帰りにバスに乗れないことがある。突然迎いの依頼の電話が来て本当に困る。乗ろうとしている子が乗れるようになってほしい
- ✓ 車の送迎は最初は友人同士でも始めるが、後々負担になる、お願いばかりで心苦しい
- ✓ 基本的には高校生は自分で通学すべき。親としてはその送迎に相当な時間を取られ、時間を損失している。本来は運動や読書や家でくつろぐ等で親自身のリフレッシュに時間を充てるべき
- ✓ 親の送迎は沖縄独特の慣習。交通渋滞の原因の一つになっていると思う

環境

- ✓ 子どもたちが安全で健康に送迎不要な環境になるような地域の整備も併せて必要
- ✓ 通学、送迎は歩く距離が長くなく安全になるといい
- ✓ 送迎の背景には、街灯がなく道が暗い、人通りが少ない、目的地までの歩道が草や木が生い茂り整備されていない、歩道がないなど様々な理由がある

○自ら通学/移動できる環境を求める生徒からの声

- ✓ 親の時間、自分の自由な時間も大切
- ✓ 定期券も高いから親に負担をかけられない。だから朝は徒歩で来ている
- ✓ 親の送迎で通っており、親の出発する時間に合わせている。早く着いたら学校で寝ている。早起きは疲れた
- ✓ 送迎で親の出勤時間ぎりぎりになるとイライラされ、申し訳ない気持ちになる
- ✓ 雨の日は早めに出る必要があり、早めに起こされるのは気分がよくない
- ✓ 部活の送迎は親だができないときは祖母。運転が怖くなってきている
- ✓ 送迎がなくても行ける通学手段があればいいのに
- ✓ 部活の後にみんなで集まるとなっても送迎があるからいけない子、バスの時間でいけない子もいる
- ✓ アメリカンビレッジの方まで遊びに行きたい。費用と時間がかかるのであきらめることも
- ✓ バスに乗って色んなところに行きたいが、わからないので使っていない。のりものNAVIもあるが使いにくい
- ✓ 本当は中北部まで遊びに行きたい。バスで行けるなら使いたい
- ✓ 今の行動範囲の幅が狭い。自動車があれば行動の幅が広がるので免許をとったら今まで行ったことがない地域に行ってみたい

5. 学びについて③

○送迎での通学の利便性に関する声

- ✓ バスだと混んでいて立ちっぱなしなので勉強できない
- ✓ 渋滞でも車の中で単語帳を見ることができる。車の方が安全
- ✓ バスだとお金がかかるので、親の出勤時間とあっている今は送迎での通学が都合がいい
- ✓ 必要と思ってやっているの送迎は苦ではない
- ✓ 親とどちらの時間も有効的に活用出来れば、沖縄県のいくつかの課題はなくなると考える。ただ、送迎を行うことで、子とのコミュニケーションを行なう時間が確保できている可能性もあるため、沖縄の家族行動に影響も出る可能性がある

○学生の活動や選択への影響を懸念する声

- ✓ 行きたい高校があったが通いづらいため諦めた
- ✓ 定時制の学校に通う子供は路線の減便により利用できるバスが減り、学習機会を失いかねない状況
- ✓ 子供たちのやりたい事へ挑戦する環境も整備されてくるもの考える
- ✓ 遠隔地から通学する学生の交通費はかなり高いのではないか。近隣と遠隔地では交通費の差は大きいと思う
- ✓ シングル家庭でなどの高校へ行っている人は祖父母が送迎している。部活もしたいが、帰宅時間が遅くなるからできない
- ✓ 送迎がないと部活の練習試合に行く方法がない。あれば練習試合にも参加出来た
- ✓ 送迎がないのでサークル活動に参加できなかった
- ✓ 時間が読めないので大学内で車を止められないことも。授業に間に合うか心配になる

6. 高齢の方について①

○高齢者も出かけやすい環境を求める声①

外出機会

- ✓ 移動手段がないことによって最も影響があるのは通院と買い物
- ✓ お年寄りにやさしい環境を。外出機会が増えるといい。買い物が社交の場にもなる
- ✓ 母を地域のコミュニティがある市場などに連れて行ってあげたいがなかなかできていない
- ✓ 買い物にはネットスーパーもあるが、お年寄りもなるべく出かけたいと言っていた
- ✓ 歳をとってもゴルフに出かけたり楽しく過ごしたい
- ✓ 本当はもっと出かけたいはずだが出かけられなかったり、歳をとっても運転していて危なかったりする
- ✓ 今後も高齢者が増えていく中、この交通環境では移動が大変だと思う
- ✓ 移動販売車はあったら大変有りがたいことだ
- ✓ 手軽に配達してくれる店舗があれば良い

送迎

- ✓ 知り合いの高齢者は毎回お願いするのが申し訳ないと言っていて、かわいそう
- ✓ 平日は仕事をしている家族に送迎を頼みづらく、仕方なくタクシーを利用するが高いしすぐつかまらない
- ✓ 移動手段としては、家族の送迎か、免許を持つ人の車に相乗りをしなければならない
- ✓ 子供の送迎や高齢者の送迎を地域でできないかと考えている。地域でこうしたサービスを担うことで地域のつながりも強くなるのではないか

免許返納

- ✓ 高齢の父親は免許を返納したので、買い物が大変。物を届けに行っている
- ✓ 同居する高齢の父親に免許返納させたいが、日々のジムや買物に公共交通機関が使いづらく、引きこもりと認知症が不安で踏み切れない
- ✓ 免許もっていても高齢者の運転は危ない。もっと公共交通機関が使いやすくなるとよい
- ✓ 今後、夫の免許の返納で自動車が使えなくなることを考えたことが無かったので、デイケアのバスや公共交通サービスの利用について調べてみたい
- ✓ 免許返納するとできることもやらなくなってしまう。極端な有り無し論ではなく緩い免許の在り方もあっていいと思う。海外では運転できる距離を制限して認めるやり方もある

6. 高齢の方について②

○高齢者も出かけやすい環境を求める声②

移動環境

- ✓ 普段からバスやモノレールが使いやすい環境なら、家族の送迎なしに用事や県内旅行ができる。しかも、「徒歩」や「乗換え」など頭も体も使うので認知機能や運動機能の維持も期待できる
- ✓ 地域循環バスや乗り合いでの送迎などがきめ細かな選択肢が多数あれば(送迎を頼むなど)気を使わなくていいと思う
- ✓ インフラ面が整って、高齢者が免許を返却しやすくなり、高齢者による交通事故が減っていく環境にしてほしい
- ✓ バス停までも遠い。枝葉の路線が少ない。ご近所あいさつにも行きづらい
- ✓ 駅までのアクセス、交通体系を整えてほしい。幹線につながる網の交通の充実化を望む。バスのような大型車両じゃなくても、小型バスでもいいと思う
- ✓ 散歩をするのだが、道は整備されておらず、危険で歩きにくい。歩行者のことを考えていない

7. 観光について①

○訪問機会や消費機会に影響するとの声

- ✓ 時間切れで断念した場所もあった
- ✓ 時間に余裕を持って動いているが、本当は観光にもっと時間を使いたかった
- ✓ 訪れる時期や移動の時間帯で混雑を避けている点で自由が制限されていると感じる
- ✓ 中北部以北は公共交通がなく、車で行っているため、飲めなくなるのは悲しい
- ✓ 全体的に時間が読めないのが不満、またレンタカーだとお酒も飲めないのは困る
- ✓ 那覇空港はせっかく市内に近いのに渋滞のせいでメリットを失っている
- ✓ 車離れが進む中、車が必須な環境は観光収入に致命的である。また、車移動は目的地を点でつなぐ傾向にあり、観光客の面的な消費はしづらく、観光消費の総額が伸びにくいのではないかと
- ✓ 駐車場を探すのに使ってしまった時間を、文化や歴史に触れる時間に振り向けたり、お土産を買ったり飲食する時間にできれば、経済効果もより高まるのではないかと思う
- ✓ 那覇空港があるので那覇で遊ぶ観光客は多いものの、学生や外国人は本部や名護辺まで行く方が少ない。公共交通機関がもっと発達していれば本部、名護、国頭辺りの魅力を伝えられ、観光業の更なる発展や人口増加に繋がるのではないかと
- ✓ 車での移動はホテルまでの最低限となり、ホテル周辺しか楽しまなかった
- ✓ 観光業で働いているが、車を運転できない方(外国人や学生など)が遠くまで行く手段がレンタカーしかないという点に対して残念がっている姿をよく見る
- ✓ 中心部だけではなく、沖縄全島に、観光客が来られるように
- ✓ ホテルから出発できる観光地やイベント参加があれば、個々がレンタカーを借りる必要はないし、免許証を持っていない人も行動範囲が広がる
- ✓ 沖縄は南の観光地のベストワンだと思う。もう少し離島を大事にして観光に行きやすくしてほしい

○沖縄の自然や文化、くらしなどをゆっくり楽しみたいとの声

- ✓ 名護くらいまで景色を見ながらのんびり行ってみたい
- ✓ 車で通過するだけでは景色をゆっくり楽しめないこともあると思う
- ✓ 渋滞がひどいと聞いた。観光でのんびりするにはよくないが、しょうがないと思う
- ✓ チェーン店ばかり増えて、もともとの沖縄らしさが失われてきているのは残念
- ✓ 地元の住民の人たちと気軽に触れ合える場所などがあたらいいと思う

7. 観光について②

○多様な移動手段での観光を求める声

- ✓ 交通網が把握しやすければ、レンタカーに頼らない観光をしようとなりやすいのでは
- ✓ 沖縄はレンタカーが必須と知られていると思うので、車が運転できない方々には敬遠されるかもしれない
- ✓ 今後若年者の免許取得率が下がると沖縄観光そのものが成り立たなくなる
- ✓ 知らない土地をレンタカーで走りたくないため、電車やバスで移動できない土地には行きたくない
- ✓ 観光客の場合、やむを得ずレンタカーとなる。運転しない若年層や高齢層は敬遠される可能性あり
- ✓ もっと移動の手段をPRしてほしい。旅行会社がもっと交通手段を知っておくべき
- ✓ 知らない土地だと運転したくない
- ✓ 運転はできればしたくないが、バスを使うときも時間に注意が必要
- ✓ 直近はレンタカーを抑えるのが大変
- ✓ レンタカーのイメージしかなかった。バスの情報があればバスを使いたい
- ✓ 免許は持っているが、運転の自信がない。バスで回ったが行きたいところは全て行けた
- ✓ 離島ならではの自然豊かな環境が素晴らしく、壊して欲しくないので離島においてはレンタサイクルの充実を実現して頂きたいです
- ✓ レンタカー代が高い。車があると時間に制約されず自由に好きな場所を選べるけど、やっぱり高いしガソリン満タン返しはガソリン高騰では辛い
- ✓ レンタカーなしに家族でも楽しめるプランの提供など、わかりやすい材料があるとその選択肢を選ぶかもしれない

○レンタカーでの観光に満足しているとの声

- ✓ 渋滞については「こんなものだ」と思っている
- ✓ 家族がいるのでレンタカーの方が移動しやすい
- ✓ 平日の夕方の渋滞には慣れている、また観光客の行きたい時間やルートは外して動いている。交通渋滞はそこまできつと感じない。観光客側のリサーチも必要
- ✓ そこまで今の沖縄に不満はない。荷物もあるので車での旅行の方が便利。車で安全に移動できればそれでいいと思う
- ✓ 昔の方が渋滞はひどかったと思うので今はそこまで不満はなく、そもそも夕方は走らない
- ✓ 子供がいるのでレンタカーの方が回りやすい。移動しやすさが担保されていればいい

7. 観光について③

○観光客目線の住民生活に対する声

- ✓ 自然や独特な文化の中で生きている人たちの生活は崩してほしくない
- ✓ 地元の人の生活を変えることはしたくないので、不用意に外部のルールを持ち込まないことが必要
- ✓ マナーの悪い観光客も多いので羽目を外しすぎないでほしい
- ✓ 県民の生活をベースとしつつ、観光客も活用できるような公共交通機関があれば経済的にも良いと思う
- ✓ 観光客が増加すると車も増加するので地元の人は大変だと思う
- ✓ 観光客が固まって動いてしまっているの、偶数日はノーマルな案内、奇数日は観光のおすすめコースを案内するなど分散する仕組みがあってもいい

○住民目線の観光客に対する声

- ✓ 東京にいた頃は、観光客も大事にしていたが、住民もくらしやすかったので沖縄もそんな社会になるといい
- ✓ 公共交通は観光客でも使いやすいようにして、沖縄の人も乗れるようになるといい
- ✓ 観光立県を目指すなら観光客だけでなく地元住民も使いやすい空港や公共交通にしてほしい
- ✓ 観光客が来てくれるのはいいことが安全な運転をしてほしい
- ✓ 観光客が信号もない農道をスピードを出して走っているのを見たことがある。また、レンタカーの観光客と接触事故となり、相手が保険に入っていないことで事故処理がスムーズに進まないという話も聞く。沖縄に観光に来てくれる人が増えるのはとてもいいことだが、沖縄県在住者を守るための整備も同時に進めてほしい
- ✓ 沖縄県は観光が盛んなので、観光客のためにも交通の便を良くしてほしい
- ✓ 車が多くて、中には運転が荒い観光客もいるので、公共交通が充実すればレンタカーも減ると思う
- ✓ 外国人は自転車好き多いので、自転車で回れるようになればもっと人も来ると思う。そういう沖縄の方が良い
- ✓ マナーが悪い方もいる。沖縄の事情をもっと理解してほしい

8. 路線・ダイヤ、交通結節について①

○路線・ダイヤに関する声

路線・バス停

- ✓ 駅までのアクセス、交通体系を整えてほしい。幹線につながる網の交通の充実化を望む。バスのような大型車両じゃなくても、小型バスでもいいと思う(再掲)
- ✓ 地域循環バスや乗り合いでの送迎などがきめ細かな選択肢が多数あれば(送迎を頼むなど)気を使わなくていいと思う(再掲)
- ✓ 小型バスの運行により、きめ細かいルート網を構築することで生活・観光の質の向上に寄与すると思う
- ✓ バス停までも遠い。枝葉の路線が少ない(再掲)
- ✓ 大型バスを小型化して台数・本数を増やした方がいいのではないか
- ✓ 路線バスのルートが多くての需要を拾おうとしすぎて、ルートが長すぎるのではないか
- ✓ バス路線やバス停の場所が微妙。行きたいところがない
- ✓ バスに乗っている時間を有効活用したいのでバス停を増やしてもらえればバスを使う

ダイヤ

- ✓ 通勤・通学時間帯の積み残しがないようにしてほしい
- ✓ 現状バスは残業次第で終わってしまうので、夜10時くらいまで動いていたら使うかもしれない
- ✓ バスが2路線あるが来るタイミングが同時で非効率
- ✓ 路線バスの統合を進める必要があると思う
- ✓ 以前に比べたらバスの遅延が減少し、ダイヤも良くなったと思う
- ✓ ダイヤを渋滞を考慮して改訂してほしい。運転手とダイヤを考える人の連携が必要

わかりやすさ

- ✓ バスはルールや路線が難しく、子供だけで乗せられない
- ✓ バスの路線が分かりにくい、バスが渋滞に巻き込まれる
- ✓ 路線がわかりにくく、沖縄の人でさえどれに乗ったらいいかわからない
- ✓ 出勤時間とバスの時間が合わないため利用しにくい
- ✓ 取り急ぎ観光対策としては県外の人にもわかりやすい路線構築や表示(路線名称や空港・駅等での表示など)が有効と考える

8. 路線・ダイヤ、交通結節について②

○乗継・交通結節に関する声

結節点の機能

- ✓ 交通機関がまとまっていると移動しやすい。(再掲)
- ✓ 駅の近くに認定保育園があればもっと便利ではないか。(再掲)
- ✓ 県外だと駅の周りにお店が集中している。(再掲)
- ✓ バス乗り継ぎの場所に買い物できる店があると便利
- ✓ モノレールの駅と商業施設など目的地との結節が悪く、駅から一定の距離を歩かなければならない。(再掲)
- ✓ モノレール駅が様々な施設と直結して、連携してほしい。駅ビルみたいな施設でもいい。(再掲)
- ✓ ゆいレール駅周辺の開発が計画的に実施されていない
- ✓ 沖縄本島の主要な地域を結ぶシャトルバスや交通結節点となる場所が増えるといい

乗継の利便性

- ✓ バス乗り継ぎの接続が悪く感じる。待ち時間が1～2時間となる場合がある
- ✓ 駅とバスの接続がうまくできてないように感じる
- ✓ モノレールとバスの接続も良くないので、使いたくても使うと時間がかかる
- ✓ バス同士やバスからフェリーを短時間で乗り継げるようになってほしい
- ✓ 主幹交通をモノレールで枝交通をバスでとはできないか

自動車と公共交通の連携

- ✓ パークアンドライドは便利なので推奨してほしい。会社が駐車料金を負担すれば進むと思う。
(再掲)
- ✓ 都市部以外の家庭へバス利用を促すのであれば、バス停付近への大型無料駐車場の設置や地域ピストン配送車の導入も併せて検討する必要があるのではないか

9. サービスの向上について

○決済に関する声

- ✓ 支払い方法がOKICAか現金だけなのでPayPayやクレジットカードも利用できるようにしたらいい
- ✓ バスは不便ではないが、SUICAとかのICカードが全部使えるとよい。そうすると切符が必要なく本土への旅行の行き帰りに気にする必要がない
- ✓ OKICAしか使えないのは不便。SUICAなどのICカードも利用できる環境を
- ✓ バスについて、Suicaなど全国の交通系ICカードが使えず、現金しか使えないのはどうなのか。観光客も使いづらいと思う
- ✓ バスはOKICAを導入したことで小銭を持たなくてよくなり、多少は利便性が増したと思う

○運賃等に関する声

- ✓ 通勤・通学定期券や一日乗車券の購入に補助を行ってはどうか(再掲)
- ✓ 学生のバス割引があってほしい
- ✓ 叔父が90歳で免許を持っている、免許返納したら割引かれるといい
- ✓ 乗継によってバス代が高くなってしまう
- ✓ 公共交通の定期代を時間帯ごとに分けてはどうか

○その他サービス、環境整備について

- ✓ バスの停留所の屋根などが整備されるといい
- ✓ 屋根や座るところがなく年寄りとしては体力的にもきつい。せめて椅子がほしい
- ✓ 街灯を増やしてほしい。暗いバス停留所は子供が待つには怖い
- ✓ バス停の時刻表が小さくてお年寄りには見えない
- ✓ 低床バスは利用しやすい
- ✓ 家族に車椅子ユーザーがいるので、現状の公共の交通機関に不便さを感じる。もっと配慮してほしい
- ✓ バスの運転手には女性も活用してほしい。アナウンスなど細かい心配りができる人がいい
- ✓ バスの運転手が他社の路線でも案内できるようにしてほしい
- ✓ バス停の場所、待ち時間、ルートなどを容易に知れる手段があると良い
- ✓ バス路線の案内、スマホのアプリでもわかりにくい。わかりやすければ観光客もバスにのるのではないかな

10. 新たなサービスの導入について①

○近距離の移動サービスを求める声

- ✓ 小さなものでいいので近場を巡回するバスがあれば嬉しい
- ✓ コミュニティのつながりが弱くなっている。つながりを強くするためにのりあいタクシーが必要
- ✓ 地域で子供の送迎や高齢者の買い物移動を支援できないか(再掲)
- ✓ 生活保護で車を持ってないので、そうした方でも動きやすいタクシー等があるといい
- ✓ 福祉バスが動いているが、高齢者しか乗れない。同じ場所を回っているので子育て世代なども乗れるサービスになるといい。
- ✓ 地方では自家用車による輸送の活用も必要ではないか。

○モノレールの輸送力増強に関する声

- ✓ モノレールの3両化を進めてほしい。もっと座れるようにしてほしい
- ✓ モノレールが伸びてほしい(名護まで、中部まで、キングスの試合を見やすく 等)
- ✓ モノレールを伸ばしても、使う人が限定的ではないか。費用も税金なのでみんな納得が得られるだろうか
- ✓ 路面電車のような定時性が高い交通環境が必要ではないか
- ✓ 鉄軌道を整備してほしい(北部まで、中部まで、本島一周 等)
- ✓ 鉄軌道があるといいが赤字になってしまうと意味がない
- ✓ 鉄軌道は時間がかかり、維持管理も大変だと思うので、現実的にバスをもっと充実させてほしい
- ✓ 今既にある道路で公共交通が定時性を担保できる方策を考えるべき

○新技術の導入を求める声

- ✓ バスの運転手が足りていない問題もあるので自動運転とかならないか
- ✓ 将来的に空飛ぶ車みたいなものが導入されてほしい

10. 新たなサービスの導入について②

○観光客の移動ニーズに関する声

- ✓ レンタカー以外にも気軽に利用できて、島内を色々と周遊できる手段があるといい
- ✓ バスが定時運行できるようになれば、バスによる沖縄観光を活性化できる
- ✓ 沖縄本島全体の1日乗車券があれば。高速バスは対象外。値段高くてもよいからあるといい
- ✓ 東京にあるような地域を巡る小回りが利く小さいバスがあればいいのと思う
- ✓ シェアサイクルが充実してほしい。価格も安いものが良い
- ✓ ゆいレールが北谷まで伸びてほしい。北谷まで行ければ北部は混んでいないのでそこからレンタカーで移動できる
- ✓ 北部に直接行ける手段があるといい。混雑する市街地を通して移動しなければいけないため半日無駄になる
- ✓ 沖縄県ではゆったりと巡るツアーなどを取り入れてほしい

○自家用車社会全体に対する声

- ✓ 渋滞の影響は大きく、車社会は本当にどうにかしないといけないと思う
- ✓ 車移動が前提ではない社会を目指してほしい
- ✓ 車に依存しない社会にしてほしい
- ✓ 自分は車に乗るが、乗れない人もいるので、車がなくても動き回れる沖縄になるといい
- ✓ 一人1台車が必要というのは所得も低い中でおかしい
- ✓ 車なくても生活できるのが基本だと思う
- ✓ 長寿の国が失われたのも自家用車利用の便利さを求めすぎたからだと思う
- ✓ 渋滞のせいで早く進みたい気持ちがあり、交通マナーが悪くなっていると思う
- ✓ 交通渋滞を当たり前だと思っている。意識を変えられる動画などがあるといい
- ✓ 車に代わる手段があれば、高齢者による事故や飲酒運転などの減少にも繋がるのではないか

○自家用車で移動しやすい環境整備に関する声

- ✓ 県民が車を持っているから悪いということにはならない。渋滞は避けられないが流入量などの渋滞の情報が分かるようにすることが必要
- ✓ ピーク時の交通量に耐えうる道路の整備。ピーク時でも車がきちんと流れていれば時間が奪われず生活の質の向上、燃費の向上によるサステナビリティへの貢献が期待できる
- ✓ 交通に関しては昔より良くなっているのでありがたい、空港までの道路も楽しみ。自家用車を選択する人は減らないと思うので渋滞緩和に力を入れて欲しい
- ✓ 県内は会社や学校、習い事等、自家用車を利用する場面が多々あるため、ガソリン代を安くする等家計の負担軽減になるような対策を講じて頂きたい

○自家用車利用の規制も必要との声

- ✓ 道を増やすと車も増える、ある程度強制的に制限することもありえるのではないか
- ✓ 道路や車線を作りすぎてさらなる自家用車増と渋滞を招いている
- ✓ 車を不便にするような経済面から訴える取組があってもいいのではないか
- ✓ ヨーロッパのように車両番号(偶数、奇数)で流入規制をしてはどうか
- ✓ 都市部への自家用車の規制が必要と思料。外国に習い、課金しても良いのでは
- ✓ レンタカーを規制しても登録していない会社が出来ると思うのでレンタカーを規制するのでは無く、給油を規制するのも一つの手段。それによりEVが増えるかもしれない

○手法自体に対する感想

- ✓ 普段思っていたことを言う機会があってよかった。中々そういう機会はない
- ✓ PIは住民の意見を吸い上げる素晴らしい取り組みだと思う
- ✓ 住民の声を聞く仕組みがない。行政が話を聞いてくれるのはうれしい。どう反映されるかがもう少しわかりやすいと良い
- ✓ 課題を自分事として考えることが今まであまりなかったので、いいきっかけになった
- ✓ ここで示されている資料のようなことを考える機会を皆に持ってほしい
- ✓ 強引に沖縄の諸問題を交通と関連付けているような気もする
- ✓ 大学や県立博物館・美術館でのインタビューもしてほしい
- ✓ なぜPIという手法を使って今回施策立案をしようとしているかに興味を持った

○その他

- ✓ 県内でよい仕事が見つからず、東京へ就職する。病気の両親と祖母のそばにいたい、沖縄の給与では厳しい
- ✓ みんな沖縄を離れてしまうのは雇用や賃金の問題の影響が大きい。みんな沖縄のことが好きなので、沖縄で豊かな生活ができれば
- ✓ 定年退職後の人生を自然に恵まれた美しく静かで穏やかな沖縄でゆったりのんびり暮らしたいと思う。便利でスピード感があることが良い事とは限らない。現状の良さを壊さないで欲しい

○公共交通の維持を求める声

- ✓ 路線バスの減便が相次ぎ、市街地中心のダイヤとなっているが、自然豊かな観光地（農村地域）にも人々の暮らしがあり、都市部以外における公共交通の維持確保も重要
- ✓ 現状のコミュバス・福祉バスは維持してほしい。コミュバスのない時間帯の移動手段が欲しい

○都市構造と交通に関する声

- ✓ 道路はできたが、生活圏がただ広がっただけで結局みんな那覇に来る。その結果が渋滞。拠点を作って買い物をしやすくし、那覇に行く人もそこで集約することで地域の経済を回すなど、10年20年後を見据えた街づくりが必要
- ✓ 中心地周辺までは、車、急行バスでアクセスし、中心地内は歩行、特定小型現原動機付自転車、路面電車（無人）を活用したトランジットモールにするなど、地域毎の整備を早期に進めてもらいたい
- ✓ 都市機能が那覇に集まりすぎているのが慢性渋滞の根本要因のため、基地返還を機に県土構造を改善するように分散すべき
- ✓ 車社会というのはある程度容認すべきところもある。大きな都市計画の中で、一極集中の状況を少しずつ改善し、特定の道路にかかる負荷を除く施策につながってほしい
- ✓ 沖縄の均衡ある発展を実現するため、交通環境だけでは解決できない部分はあるがせめて理想と現実を思い語り、これまで沖縄県民の生活を支えてきた路線バス事業者にも敬意を示しつつ、持続ある公共交通を検討していただきたい

○その他

- ✓ 沖縄の交通環境について真剣に話し合う機会を、未来を支える若者たちに与える事も大事と考える
- ✓ 通勤時間の渋滞緩和のために県民の意識改革も当然必要だが、県や国主体で思い切ってルールを作る方が早いと思う。公務員や企業に働きかけて、公共交通機関の利用率目標値を設定するなどにより強制的に実施することで、各人が「案外バス通勤・通学も問題ないな」と気づければ動きは加速すると考える